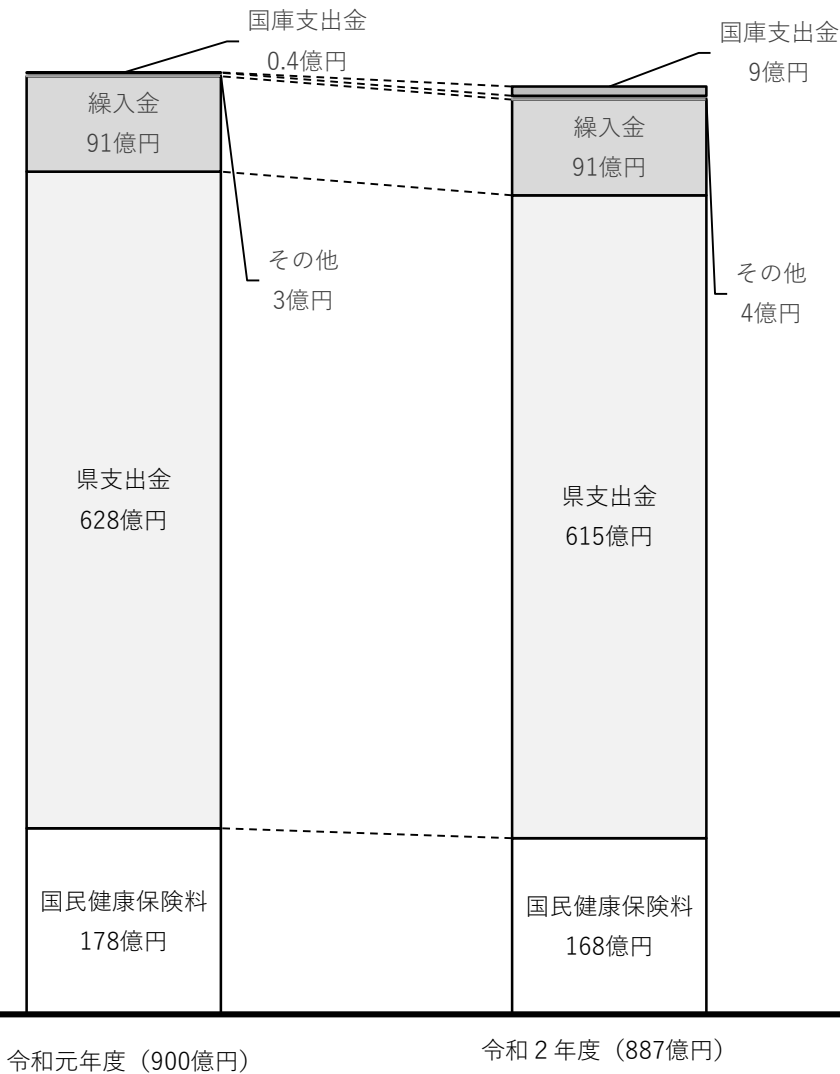


令和2年度  
仙台市国民健康保険事業特別会計  
決算(案)について

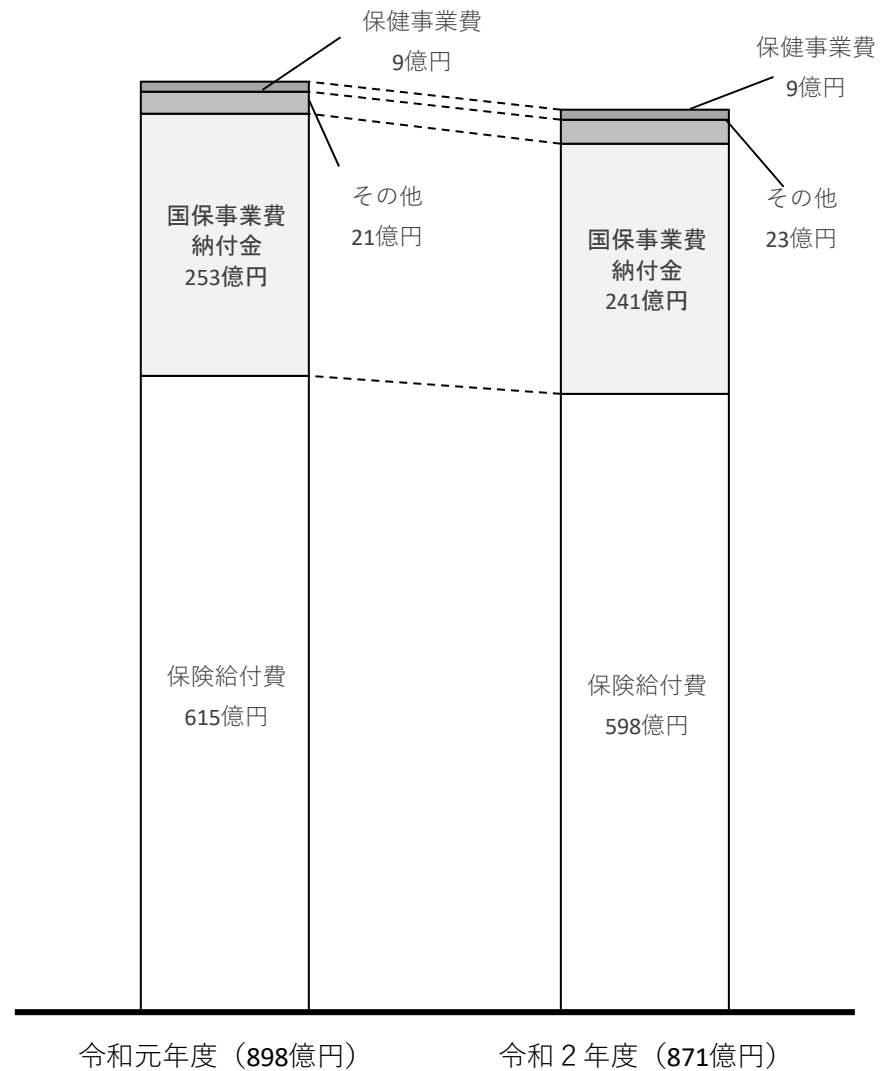
# 1 令和2年度決算について

- ① 歳入決算額 887億2,079万円（前年度比▲ 13億4,233万円, 1.5%減）  
歳出決算額 870億6,447万円（前年度比▲ 27億 406万円, 3.0%減）  
歳入歳出収支 16億5,631万円
- ② 保険給付費 597億6,524万円（前年度比▲16億9,649万円, 2.8%減）
- ③ 被保険者数（4～3月平均）19万4,347人（前年度比▲2,762人, 1.4%減）
- ④ 一人あたり医療費 361,259円（前年度比▲7,311円, 2.0%減）
- ⑤ 保険料現年度収納率 96.16%（前年度比 1.51ポイント増）

## 2 前年度決算との比較

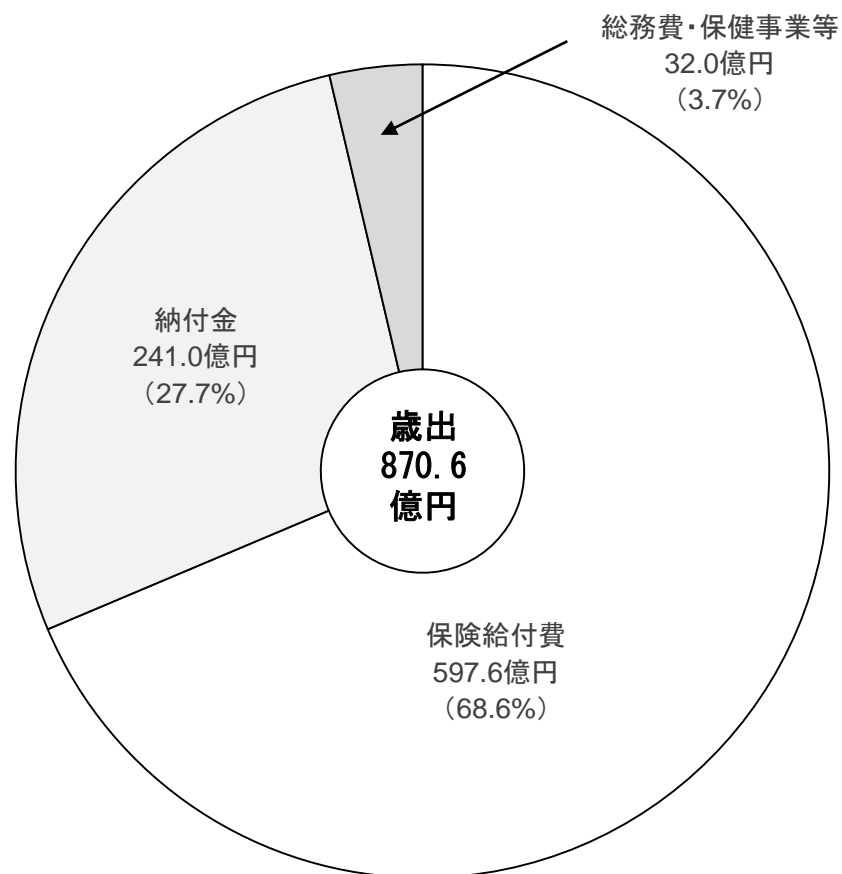
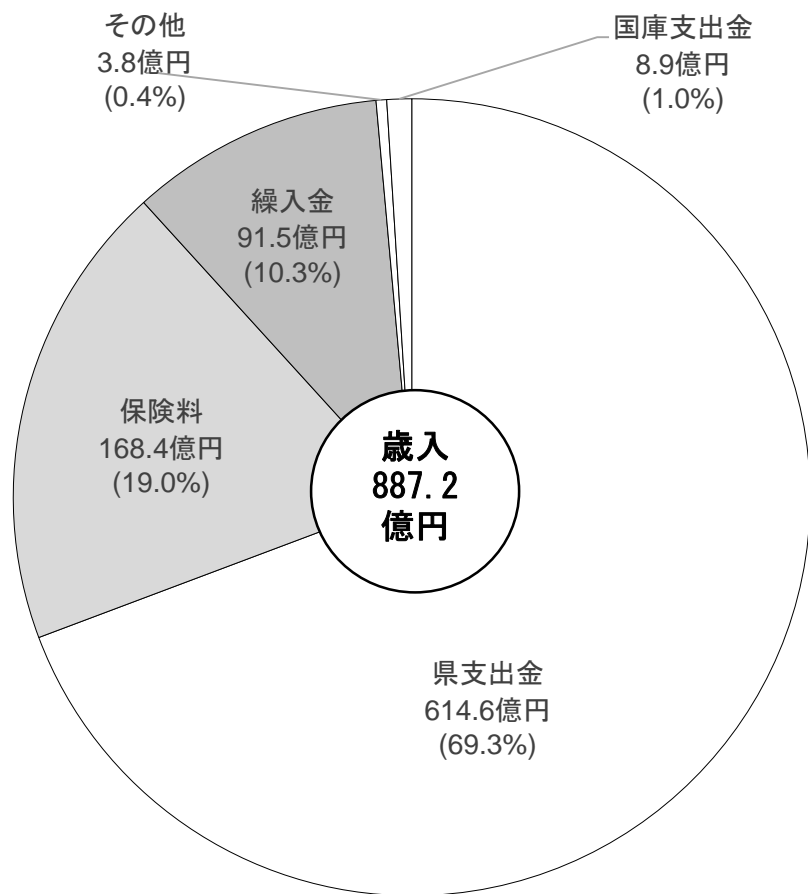


歳入



歳出

### 3 令和2年度決算における国保財政の内訳



※ グラフ内の()内表示は、歳入歳出合計に対する構成比

# 4 令和2年度歳入決算について

単位(億円)

項目	R1 決算 ①	R2 予算 ②	R2 決算 ③	R2 決算-予算 ③-②	R2-R1 決算 増減額 ③-①
国民健康保険料	177.9	169.1	168.4	▲0.7	▲9.5
国庫支出金	0.4	0.2	8.9	8.7	8.5
県支出金	627.8	639.8	614.6	▲25.2	▲13.2
その他 (繰越金、雑入)	3.1	4.2	3.8	▲0.4	0.7
繰入金 (一般会計繰入金・ 財政調整基金繰入金)	91.4	93.3	91.5	▲1.8	0.1
合計	900.6	906.6	887.2	▲19.4	▲13.4

令和2年度国民健康保険事業費  
納付金の負担額の減少により  
9.5億円の減となった。

コロナ減免に係る災害臨時特例  
補助金(8.3億円)等により  
8.5億円の増となった。

保険給付費の減少に伴う普通  
交付金の減少によって、約  
13.2億円の減となった。

保険給付費の減により  
普通交付金▲32.4億円。

コロナ減免に係る特別調整交  
付金(7.6億円)などにより  
特別交付金+7.2億円。

# 5 令和2年度歳出決算について

単位(億円)

項目	R1 決算 ①	R2 予算 ②	R2 決算 ③	R2 不用額 ②-③	R2-R1 決算 増減額 ②-①
総務費	19.5	22.8	20.8	2.0	1.3
保険給付費	614.6	629.5	597.6	31.9	▲17.0
国保事業費納付金	253.4	241.0	241.0	0	▲12.4
保健事業	9.2	10.7	9.2	1.5	0.0
その他	1.0	2.6	2.0	0.6	1.0
合計	897.7	906.6	870.6	36.0	▲27.1

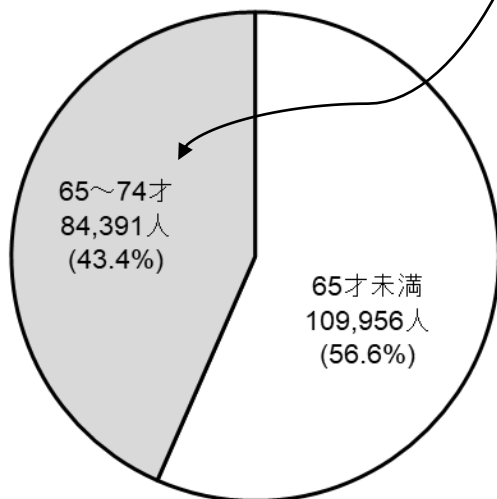
一般被保険者療養給付費などの減少により、約17億円の減となった。

医療給付費に関して、宮城県の前期高齢者交付金が増加したことによって、市町村が負担する費用が抑えられたため、事業費納付金が12.4億円減少した。

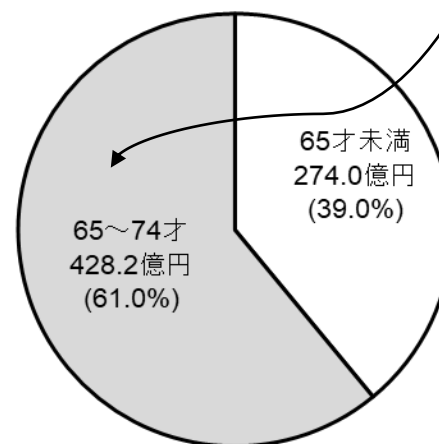
# 6 被保険者の年齢構成と医療費

被保険者数の43.4%を占める65～74歳の被保険者が、医療費では全体の61.0%を占めている。

被保険者数(4～3月平均)  
194,347人(対前年度▲2,762人)



医療費(総計)  
702.2億円(対前年度▲25.9億円)



※()内は、合計に対する構成比

一人当たりの医療費 (単位:円)

	65～74才	65才未満	全体
R1年度	524,090	253,521	368,570
R2年度	508,232	248,796	361,259
増減率	▲3.0%	▲1.9%	▲2.0%

※()内は、合計に対する構成比

## 7 保険料収納率(現年度)の推移

以下の収納対策により、令和2年度収納率は96.16%(前年度から+1.51)となった。

- (1)平成31年3月に策定した「仙台市国民健康保険料収納率向上に向けた積極行動戦略9590」に基づいた収納対策の実施
- (2)徴収体制の強化ときめ細かな滞納整理

